

WITH コロナの夏休みに考えてほしいこと

今週から前期生は午前授業となりました。後期生は来週から午前授業となります。本来ならば、夏休みとなっており、サマーセミナーや各学年の英語学習などが行われる時期です。当校では、休校中も、Classi、Youtube など ICT を活用しての在宅学習が行われ、また、生徒のみなさんも主体的に学習に取り組んだことから、他の中学、高等学校に比べて学習進度はそれほど遅れてはいない教科が多くありました。一方で、個人個人の学習時間や内容理解には、例年以上の開きもみられるとの声もあります。

当校が、みなさんに目指してほしいとしている「自己調整学習者としての自立」すなわち、「自分に必要なことを、自分に合った方法で、自分に適切なペースで、自分に必要な量学習し、その結果、成果をきちんと振り返り、分析して、次の学習に活かすことのできる」ことが、自分にできているか、今一度振り返り、この夏の主体的な学習、学びの時間を充実させてほしいと思います。

当校では、生徒全員が、スマホまたはタブレットを持参し、よりよい学習、学びのためのツールとして使いこなせるようにすることを目指しています。今後、Classi だけではなく、ロイロノートや G Suite for Education なども、新潟市の GIGA スクール構想により、導入され、より効果的な学習や学びと成長の振り返りができるようになります。しかしながら、道具はしょせん道具にすぎません。それを適切に正しく使うことが不可欠です。

ICT テクノロジーの進化の勢いは目を見張るばかりです。5G が普及することで、私たちの日常生活はどう変わるのか？ 新しい時代のビジネスのスタンダードはどうなるのか？ 昔ながらの印鑑制度も見直されています。テレワークの普及も進んでいます。一方で、SNS による誹謗中傷、心ない書き込みなどが、人々の心を壊していく事件や、不完全なコミュニケーションによる心の行き違いや不安感、不信感の増大など、使う人の姿勢や気持ちのゆがみがネットトラブル、社会問題にもなっています。

私自身、教育委員会に勤めたときに、ネットパトロールをしていましたが、匿名性をいいことに、心ない書き込みがあったり、また、本来プライバシーとして保護されるべき情報や画像を平気でアップしたりしている状況を目の当たりにしました。あれこれサイトを回っているときに、詐欺サイトを誤って踏んでしまい、入会金の請求を求められたこともありました。すぐに上司に報告し、消費者センターに相談して問題にはなりませんでしたが、ネットの世界にはびこる「悪意」も、人間のある一面として確かにあるものと強く感じました。

テクノロジーの進化は、人々を幸せにするためのものでなくてはならない。テクノロジーの進化自体は、いいとも悪いともいえない、あくまで、それを使う人間の姿勢、心持ちが問題です。

みなさんは、ギリシャ神話に出てくるイカロスの話を知っているでしょうか？

イカロスは、蠟でできた翼を手に入れ、自由に空を飛ぶことができるようになりました。調子にのったイカロスは、あまりに高く飛び、太陽に近づいたために、蠟の翼がとけ、地上へと落下してしまったという寓話です。

旧約聖書には、バベルの塔の話があります。

人間たちは文明を発達させ、神の領域である天に届くような塔を作ろうとした。人間の奢りを怒った神は、雷を落とし、塔を破壊し、人々が、互いに力を合わせ、神を脅かす存在とならないよう、それぞれに異なる「言葉」を与えた。以来、人々は互いの心がわからず、疑心暗鬼となり不安と不信の中で争いの絶えない存在となった。

この二つの寓話には、人々には限りない欲望がある、よく言えば、よりよくなりたいたい、よりよい自分でありたいという欲求であり、それはテクノロジーを進歩させ、人類を発展へと導くものです。一方で、その欲望は、自己中心的で、排他的で、自分が他人より優れた存在でありたいという差別意識、優越感と劣等感にとらわれた存在におとしめるものでもあります。

みなさんは、ドラえもんの「どこでもドア」が実現したら、どのように使いますか？

もし、そのテクノロジーがあなただけのものだったとしたら？

今、世界が求めている学力、OECD が提唱するエデュケーション2030 には、3つの資質・能力を掲げています。

「新しい価値を創造する力」「対立とジレンマを克服する力」「責任をとる力」

これらは、別々のものではないでしょう。新たな発明やテクノロジーの進化により、人類が新しい「イカ

ロス翼翼」を手に入れたとき、それをもつものと、もたないもの、あるいは、その使い方や是非で異なる意見をもつものたちの対立、それをどう使うか、使った結果に対する責任は誰がどのようにとるのか、時代や社会を動かす、世界を変えるということは、常に、この3つの力が絡み合います。

ICT、スマホやタブレットをよりよく使いこなすことも、新しい文芸会の在り方を考え、実現させることも、すべて、この新しい時代、世界が求める力を養っていくことにつながっています。

世界の現状を見ると、新型コロナウイルスの感染拡大は、まだまだ続いています。27日の新たな感染者数は、世界全体で32万8千8百8人と、過去最高を更新しています。アメリカ、ブラジル、インドでの爆発的な感染が報告されています。日本でも、東京都をはじめとし、各都市での感染の再拡大が報告されています。国として、地方自治体としての政治的判断もありますが、私たちに、まずできることは、自らの言動をどうするかです。きちんと現状を把握し、自分だけでなく、共に生活する人や、様々な立場にある人にも思いを馳せ、どういう言動が、みんなの幸せのために、最適なのか、考え、判断し、実行していくことが必要です。

「自己調整学習者」とは、人がよりよく判断し、考え、学び続ける人のことです。

今は、未来に続いています。よりよい未来は、確かな今の積み重ねです。

「確かな今」とは、あなた自身が、しっかり考え、判断しているかということです。

短い夏休み、でも、普段より少し自分の自由になる時間が増える夏、ぜひ、広く世界に目を向け、深く学び、自分自身が納得できる充実した日々を過ごしてください。